

2013年度に実施した留職プロジェクト

実施件数:15社／21人／5ヵ国

15
COMPANY21
PERSON5
COUNTRY

派遣元企業	留職者の属性	期間	国	受け入れ団体
① ベネッセコーポレーション	30代女性／商品企画職	6ヵ月間	インドネシア	貧困層・青少年の健全な成長を支援するNGO
② ベネッセコーポレーション	30代男性／商品企画職	6ヵ月間	インドネシア	辺境地域の子どもに対して教育を提供するNGO／教育の質向上を支援する教育コンサルティング会社
③ NEC	30代男性／研究開発職	6ヵ月間	インド	農村部でのインフラを整えることで継続的な開発に寄与する社会的企業
④ NEC	30代男性／研究開発職	5ヵ月間	インド	農村部の若者・女性に職を斡旋する社会的企業
⑤ 日立ソリューションズ	30代男性／エンジニア	2ヵ月間	インドネシア	農村地区の貧困層を教育・ヘルスケアの側面から支援するNGO
⑥ パナソニック	30代男性／エンジニア	1ヵ月間	インドネシア	コミュニティをベースとした小規模の水力発電を運営するNGO
⑦	30代女性／エンジニア			
⑧ 日立製作所	30代男性／エンジニア	3ヵ月間	インドネシア	テクノロジーを通じて農村部・貧困層の生活水準向上に取り組む社会的企業
⑨ 日立製作所	30代男性／エンジニア	3ヵ月間	インドネシア	農村部貧困者層に対する伝統工芸品の製作支援・輸出・販売行うNGO
⑩ 日立製作所	20代男性／エンジニア	3ヵ月間	ベトナム	カー＆バイクシェアリングサービスを展開する社会的企業
⑪ パナソニック	30代女性／営業職	1ヵ月間	インド	農村部の工芸品生産者のキャパシティビルディング・販売支援を行うNGO
⑫ パナソニック	30代女性／商品企画職	1ヵ月間	インド	貧困層の衛生環境改善を支援するNGO
⑬ 電通国際情報サービス	30代男性／エンジニア	3ヵ月間	インド	貧困層の女性の自立支援をするマイクロファイナンス団体
⑭ テルモ	20代女性／研究開発職	2ヵ月間	インドネシア	低所得者層向けの小規模病院運営を行うNGO
⑮ 日立製作所	30代男性／企画職	2ヵ月間	インド	職人・クラフトワーカーの生活支援をするNGO
⑯ 日立製作所	20代男性／エンジニア	2ヵ月間	インドネシア	リプロダクティブヘルスの活動を行うNGO
⑰ 日立製作所	20代男性／エンジニア	2ヵ月間	ベトナム	妊産婦や子どもにフォーカスしたヘルスケアを提供するNGO
⑱ 日立製作所	30代男性／エンジニア	2ヵ月間	インドネシア	質が高いメディアの育成と遠隔地への適切な情報伝播を支援するNGO
⑲ 日立ソリューションズ	30代男性／営業職	2ヵ月間	インドネシア	農村地区の貧困層を教育・ヘルスケアの側面から支援するNGO
⑳ NTTデータ	30代男性／エンジニア	2ヵ月間	カンボジア	貧困層の生活と環境に優しい改良かまどの普及を行うNGO
㉑ NTTデータ	20代男性／エンジニア	2ヵ月間	カンボジア	電化率が低い農村部の住民にソーラーパネルの販売を行う社会的企業

2013年度に実施したBOP課題解決ワークショップ

実施件数:4社／56名

クロスフィールズが提供するBOP課題解決ワークショップとは、新興国のBOP層(Base of the Economic Pyramidの略)の生活や社会課題に対する理解を深めるとともに、社会課題を起点としてビジネスを行う上での実践的な知見を得ることを目的としたプログラムです。BOP層の生活や現地の社会課題を熟知する海外NGOのスタッフをゲスト講師として迎え、約3ヶ月間にわたって各企業の本業を活かして社会課題を解決する事業アイデアを創出します。

企業名	参加人数	テーマ
① 日立ソリューションズ	15	カンボジア農村の生活改善
② パナソニック	15	インドネシア農村の生活改善
③ 日立ソリューションズ	15	インド農村の生活改善
④ トヨタ自動車	11	「移動」をテーマとしたインドネシアのBOP層の生活改善

56
PERSON

特定非営利活動法人クロスフィールズ

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-8-3 町原ビル3F

TEL:03-6417-4804 E-MAIL: info@crossfields.jp

クロスフィールズ 検索 <http://crossfields.jp/> [f](#) CROSS FIELDS

枠を超える、未来を創る

CROSS FIELDS



CROSS FIELDS

枠を超える、未来を創る

<http://crossfields.jp>CROSS FIELDS
ANNUAL REPORT

2013

BEYOND
THE BORDER15
COMPANY21
PERSON5
COUNTRY

日本企業のリーダー育成と新興国の社会課題解決を同時に実現することを目指して

日本企業の社員が新興国のNPOや社会的企業へと赴任し、本業のスキルを活用して社会課題に取り組む留職プログラム。創業3年目の2013年度、留職導入企業は15社となり、アジア5ヵ国へ21人の留職者を送り出すことが出来ました。1つのプロジェクトには、留職者、送り出す企業、受け入れる団体、現地の人々、そして、その全体のコーディネートを担当するクロスフィールズと、多くの人々が関わっています。

15
COMPANY21
PERSON5
COUNTRY

留職者の声

「インドでの半年間で見つめなおしたのは、働くことの意義でした。」

NEC 中央研究所 安川 展之さま

農村部の課題に次々に取り組む受け入れ団体の同僚たち。ある時「なぜここで働いているのか？」と尋ねたところ、彼らのモチベーションの源泉がとてもNaive(純粋)でChildish(子どものよう)であることに心を打たれました。なぜその仕事をしたいと思ったのか、我々はいつの間にかその夢を、胸の奥底に仕舞い込んでしまっているように思います。その夢の持つパワフルな原動力をもって社会を良くしていくことが、日本の産業界が活力を取り戻す一つの道だと気づかされました。



派遣元企業の声

「新たな社会ソリューション創出の核となる人材を育てたい。」

NEC 執行役員兼中央研究所長 江村 克己さま

高度なICTにより豊かな社会を創るには、研究開発の段階から現場の課題を肌で感じて、その解決に取り組むことが大切になっています。しかもグローバルな課題への挑戦が必須です。そんな中で留職プログラムの話を聞き、「これだ」と思いました。安川さんはNECからの留職の第一弾として、インド農村部の現場に入り込み、真の困りごとの解決にチャレンジしました。この経験で明らかに一回り大きくなった安川さんが、NECの新たな社会ソリューション創出の核となっていくことを期待しています。

● 留職者

● 受け入れ団体

CASE STUDY in INDIA

研究所を飛び出し、社会課題を起点にソリューションを考える

期間	6ヵ月間
企業	NEC
派遣国	インド
現地NGO	Drishtee Development And Communication Ltd.

研究所から飛び出し、「どういったことが社会にとって価値のあることなのか」を見つけにインドで6か月過ごした研究開発職の安川さん。研究所では、まずは技術ありきで、特定の課題を自分達の技術でどう解決するかという考え方になりがち。そこに問題意識を感じていた安川さんは、社会課題や顧客の課題を起点として自分たちが出来ることを考えようと、留職への参加を決意しました。全体的な運用まで含めたソリューションを提供する経験を積んでみたかった安川さんは、村落部の小規模小売店を流通面で支援する社会的企業で、POSシステムを活用した業務円滑化に取り組みました。そこで彼が出会ったのは、次々と前向きに農村部の社会課題解決プロジェクトに挑む情熱あふれる同僚たちでした。

● 現地の人々

● クロスフィールズ

受け入れ団体の声

「留職者の熱い情熱とスキルが、私たちの活動に大きな価値を与えてくれました。」

Drishtee Development And Communication Ltd.
Assistant Vice-President Ms.Swapna Mishra

Nobuyukiは、私たちが以前から取り組もうとしていたサプライチェーン効率化のためのアプリケーション開発で非常に重要な役割を担ってくれました。彼は、情熱を力に変える行動力、現場の課題を深く理解するセンス、組織や人とのネットワークを築く能力、謙虚さと前向きさなど、プロジェクトを進めていくための能力を兼ね備えていたと思います。さらに、彼の社会に役立ちたいという想いと情熱は、私たちの団体が改めて文化や価値観を見つめ直すきっかけを与えてくれました。



現地の人々の声

「Nobuyukiが開発したテクノロジーで、配達プロセスがずっと効率的になりました。」

Drishtee Development And Communication Ltd.
Operational officer Mr. Sachin Singh

Nobuyukiの開発してくれたPOSシステムのおかげで、ラストワンマイル(物資の供給が最も困難な遠隔地域)に物資を配達する仕組みが大幅に改善されました。業務が効率化したことでより多くの小売店や村人に物資が届けられるようになり、現場でのプロセス管理も行うことが出来るようになっていきます。試験的に導入したシステムは完璧に機能しており、数か月のうちに全地域で導入しようと検討しているところで、我々はとてもワクワクしています。



CROSS FIELDS EYE

担当プロジェクトマネージャー 松島 由佳(共同創業者・副代表)

社会課題に取り組む新興国のNPO等と、日本企業の双方に価値を生み出す留職。

安川さんは、受け入れ団体のDrishteeにとって、またその先のインド社会にとって、本当の意味で価値を残すには一、悩みもがきながら6か月を過ごしていました。その分残した成果は、Drishteeの事業に大きなインパクトを残し、その一生懸命な姿はインドの方々の心をも動かしました。留職を通じて、ご自身の働く意義や企業の価値をも改めて考えた安川さんの情熱は、NECの社内の方々にも伝わり、まさに受け入れ団体にも派遣元企業にも、双方に大きな価値を残してくれました。



支えてくださる皆さまからのメッセージ



「クロスフィールズとの協働で、より良い社会の実現に近づけていきたい。」

ARUN合同会社 代表 / 功能 聡子さん(事業共働パートナー)

ARUNはカンボジアやインドの社会起業家へ社会的投資を行っています。投資先に共通する課題のひとつが、財務・経理処理の未整備。クロスフィールズ留職先としてボランティアを派遣して頂くことで、1社、懸案解決の糸口が見つかりました。当の起業家の感激ときたら!このような協働関係により、より良い社会の実現に一歩ずつでも近づくことができることは、私たちARUNにも大きな喜びです。



「同世代に刺激と勇気を与え続ける小沼さん・松島さんの挑戦を応援しています!」

株式会社ローランド・ベルガー プロジェクトマネージャー / 中里 航平さん(クロスフィールズサポーター)

クロスフィールズが創り出している留職の価値はもはや疑う余地ありませんが、もう1つ、大変貴重な価値をうみだしていると思います。私は小沼さんと松島さんの同期に当たりますが、お二人の挑戦に刺激を受け、行動を変えた同世代を、私を含めて何人も目にしています。お二人やクロスフィールズの皆さんの挑戦そのものが、同世代を勇気づけ、この社会を少しずつ良いものにしているのです。そんなクロスフィールズを、今後も微力ながら応援させて頂ければと思います。



「留職に行きたい!仲間に応援してもらいながら、その想いを社内で実現しました。」

株式会社電通国際情報サービス / 真鍋 元晴さん(留職導入の社内推進者・留職者)

以前から新興国で新規事業に挑戦したいという想いを持っていました。留職を知り、これだ!と思い、新規ビジネス展開に取り組む部署に直談判。社内の理解を得るまで大変でしたが、共感してくれた上司や仲間に支えられ、小沼さんと一緒に説得し続けました。社内でマイクロファイナンスへの関心が高まっていたこともあり、晴れて留職を実現。導入から赴任まで経験し、僕自身、学びの多い成長の機会となったので、これからもクロスフィールズに同じ想いを持った人を支援してほしいと思います。



「日本企業にイノベーションを!日本の未来を創るクロスフィールズ、頑張れ!」

一橋大学イノベーションセンター 教授 / 米倉 誠一郎さん(クロスフィールズ特別顧問)

僕が創業当初から応援しているのは、クロスフィールズが日本の未来を創ることに挑戦しているからだ。社会課題最前線に入り込む留職は、日本企業が既存概念を超えた発想をすることに繋がり、その先にイノベーションが生まれる。また、ゼロから事業を構想しそれを自分で実現するという、巨大組織ではなかなか経験できない「生きたリーダーシップ研修」になっている。この活動は必ずリパース・イノベーションとなって先進国に還って来る。僕はこれからも全力で応援する。頑張れ、クロスフィールズ!

メディア掲載・受賞歴

メディア掲載

66 MEDIA

新聞・雑誌:23回
ウェブ:36回
テレビ・ラジオ:7回

メディア掲載例

日経新聞、読売新聞、労政時報、事業構想、
日経ビジネスオンライン、
NHK総合テレビ「おはよう日本」など

受賞歴

2 PRIZES

第2回日経ソーシャルイニシアチブ大賞
新人賞



第2回日本HRチャレンジ大賞 奨励賞

講演回数

36 LECTURES

講演例

- 日経Bizアカデミー×グロービス
- 経済同友会
- HR Japan Summit 基調講演
- 早稲田学MBA
- マンチェスター大学MBA同窓会 など

イベント回数

3 EVENTS

イベント例

- 企業向けフォーラム(約70名参加)
- 企業間情報交換会
- アラムナイの会

クロスフィールズからのメッセージ ~1年を振り返って~

創業から3年間の「創業期」を経て、
ビジョン実現に向けて
さらに挑戦する「発展期」へ

おかげさまで、クロスフィールズは創業4年目を迎えることができました。2013年度は、年間21人の留職者を送り出すことができ、また、日経ソーシャルイニシアチブ大賞にて新人賞を受賞するなど、大きな躍進のあった年でした。クロスフィールズでは、創業からの3年間を「創業期」、2014年度からの3年間を「発展期」と位置づけています。「発展期」の最初の1年である2014年度は、これまで続けてきた取り組みを更に拡大するとともに、私たちの掲げるビジョンの実現に向けた新たな取り組みにも挑戦していきます。皆さまからの応援を力に変え、職員一同、全力で頑張っていきますので、引き続きご声援をよろしくお願いします。



クロスフィールズの職員、ハケ岳合宿にて

VISION

ビジョン(クロスフィールズが目指す世界)

- すべての人が「働くこと」を通じて、想い・情熱を実現することのできる世界
- 企業・行政・NPOがパートナーとなり、次々と社会の課題を解決している世界

MISSION

ミッション(クロスフィールズが果たすべき使命)

- 社会の未来と組織の未来を切り拓くリーダーを創ること

FINANCE

2013年度(第3期)収支報告

		(単位:円)
科目	2013年度実績	
収入	事業収入	77,654,611
	受取会費	1,205,500
	受取寄付金	30,000
	その他(受取利息等)	426,352
	当期収入合計	79,316,463
支出	事業費	53,446,450
	管理費	6,432,745
	法人税等	6,101,500
当期支出合計		65,980,695
収支	当期純損益	13,335,768
前期繰越正味財産		11,495,367
次期繰越正味財産		24,831,135

注1)事業費は、主に人件費、旅費交通費、保険料、支払報酬料、広告宣伝費、消耗品費、会議費など

注2)管理費は、主に地代家賃、水道光熱費、支払手数料、消耗品費など

監事署名

川合 弘毅

OUTLINE

団体概要

団体名	特定非営利活動法人 クロスフィールズ	
設立	2011年5月3日	
職員数	9名(2014年7月現在)	
理事	代表理事	小沼 大地
	理事	松島 由佳
	理事	岡本 佳美 (株式会社アム代表取締役、NPO法人フローレンス理事)
	理事	金田 修 (游仁堂代表取締役、NPO法人コベルク理事)
	理事	杉浦 元 (株式会社コンコードエグゼクティブグループ取締役COO)
監事	川合 弘毅 (公認会計士)	
監事	木下 万暁 (弁護士)	